

# 中野区の現状に関する参考資料

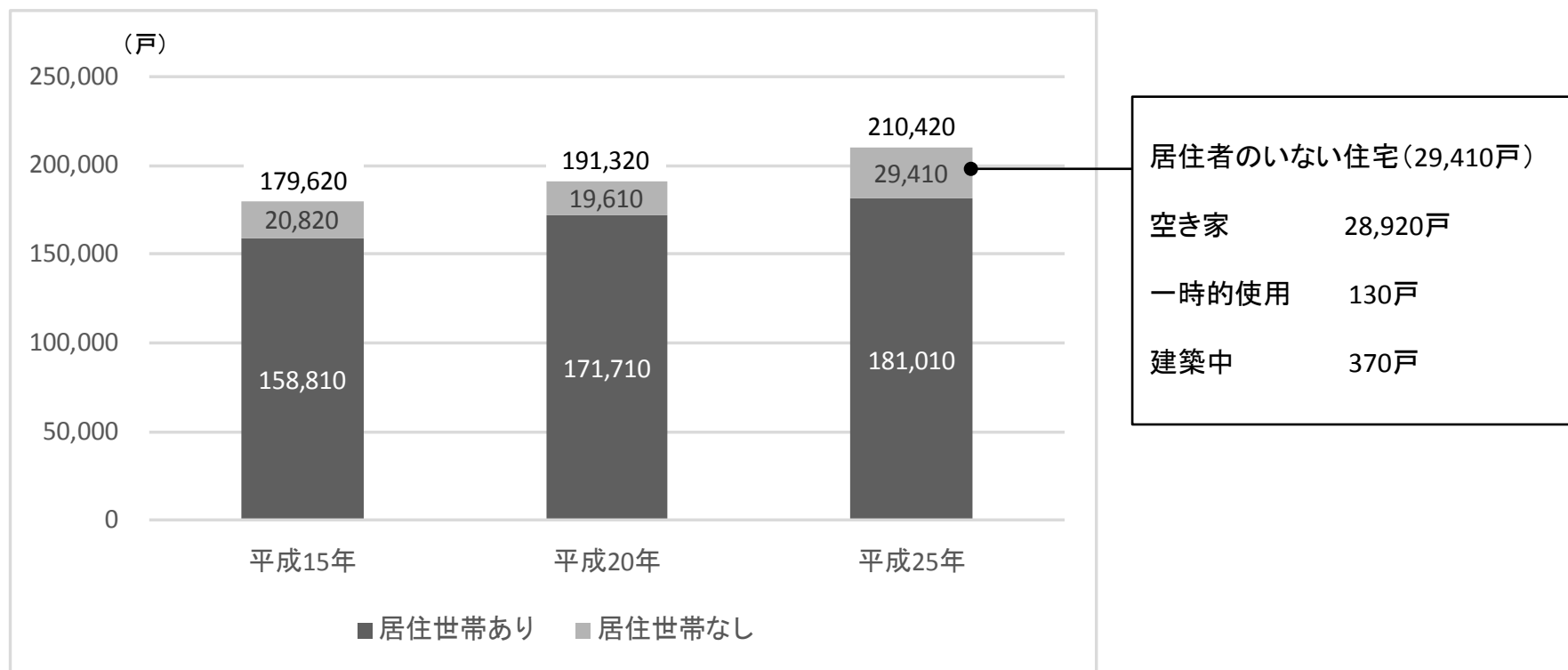
# 快適で魅力ある住環境

# 民間借家や空き家等の住宅ストックの現状

民営借家や空き家等を含めた住宅ストック数は、総世帯に対し約16%多く、量的には充足している。

住宅ストックの質の向上や居住者のいない空き家の活用を検討していく必要がある。

区内の居住世帯の有無別住宅数



【出典】住宅・土地統計調査(総務省統計局) ※各年10月1日現在

※数字は端数処理を行っているため、内訳と合計の数字が異なる。

# 近隣他自治体等の空き家活用の事例

- ◆ 空き家等の所有者が区内の空き家を子育て世帯向けの共同住宅への活用を目的として改修する場合は、区が改修工事費の一部を助成（東京都杉並区）



- ◆ 空き家等の所有者と活用を希望する団体のマッチングが成立し、一定の要件を満たす場合、区が改修工事費用の一部を補助することで、空き家等の利活用を推進（東京都大田区）



【出典】平成29年度空き家再生等推進事業事例集(東京都空き家対策連絡協議会資料)より

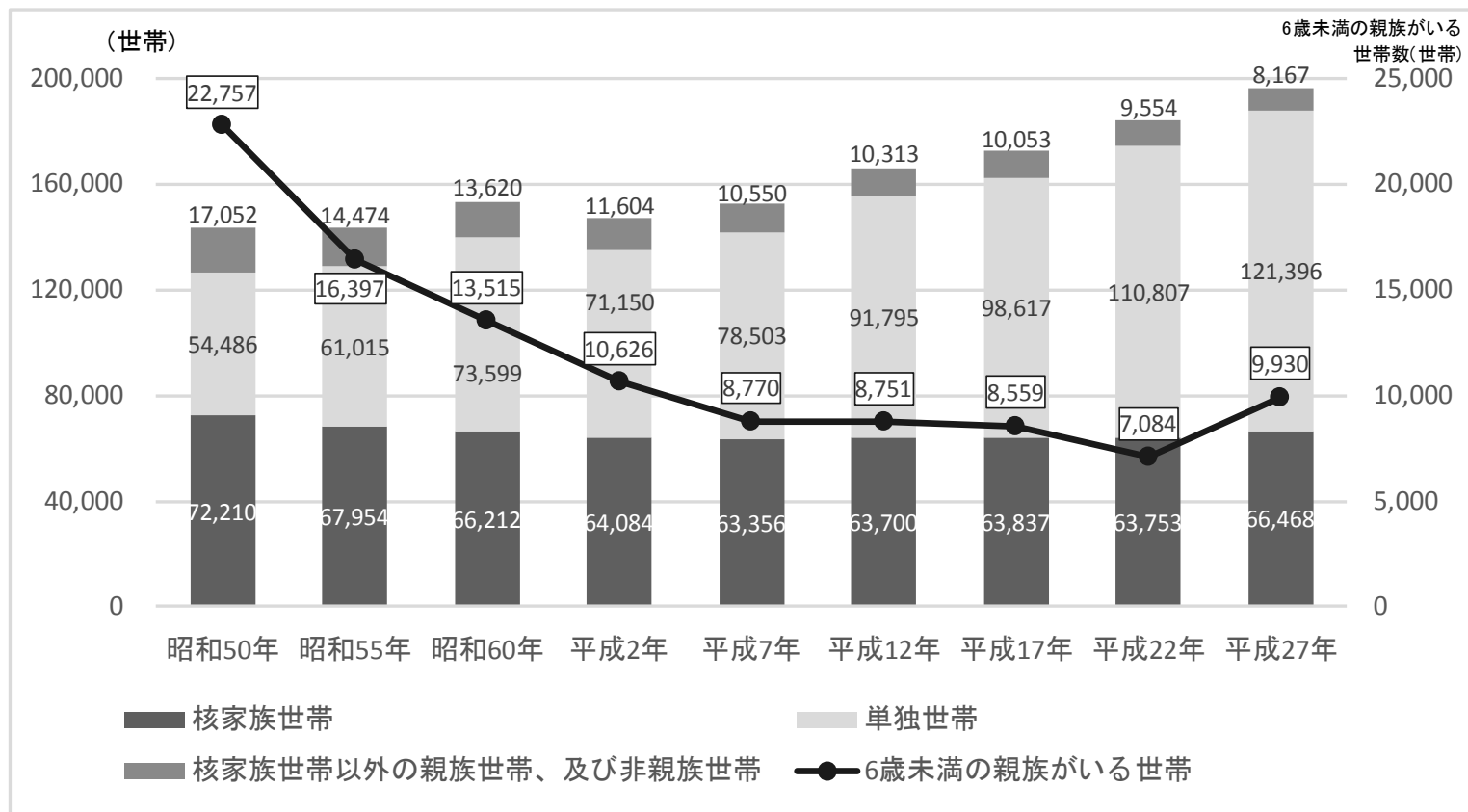
空き家活用の課題として、所有者の空き家活用に対する理解の促進支援や、所有者情報等の個人情報取扱いについて検討を進める必要がある。

# 中野区における子育て世帯の定住傾向について

近年、中野区において核家族世帯や6歳未満の子どもがいる世帯は増加しつつあるが、最も多い世帯類型は単独世帯であり、全世帯の6割を超えている。

子育て世帯の定住の促進に向け、住環境の改善に取り組んでいく必要がある。

世帯構成（6歳未満の親族がいる世帯）の推移

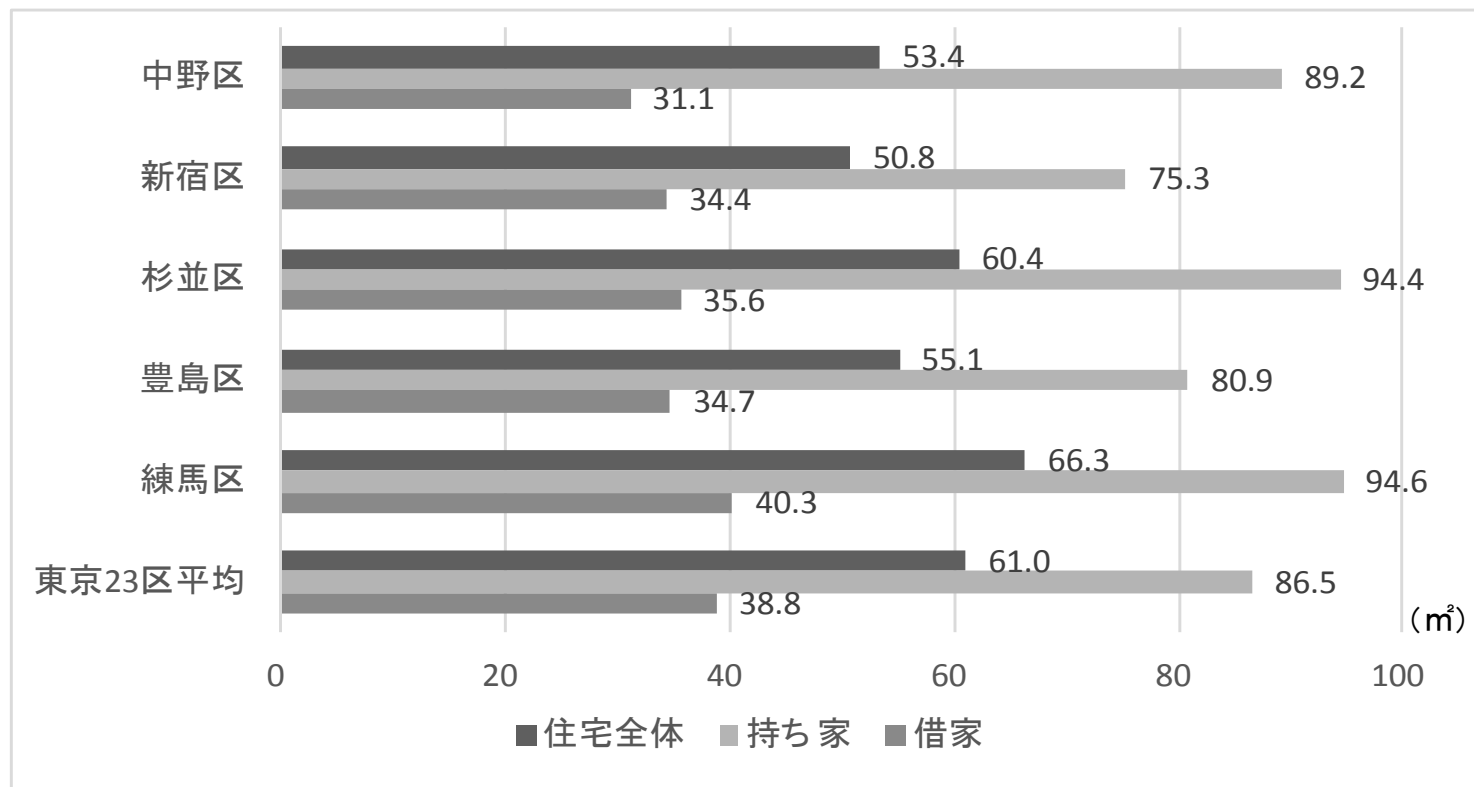


【出典】国勢調査人口等基本集計（総務省統計局） ※各年10月1日現在

# 中野区における子育て世帯向け住宅の供給状況

子育て世帯の受け皿となるべき借家について、1住宅あたりの延べ面積が周辺区に比べ最も規模が小さくなっており、23区平均と比較しても狭い住宅が多い傾向にある。ファミリー向けの規模の住宅ストックが増えるような誘導策について検討する必要がある。

## 1 住宅当たり延べ面積（周辺区との比較）

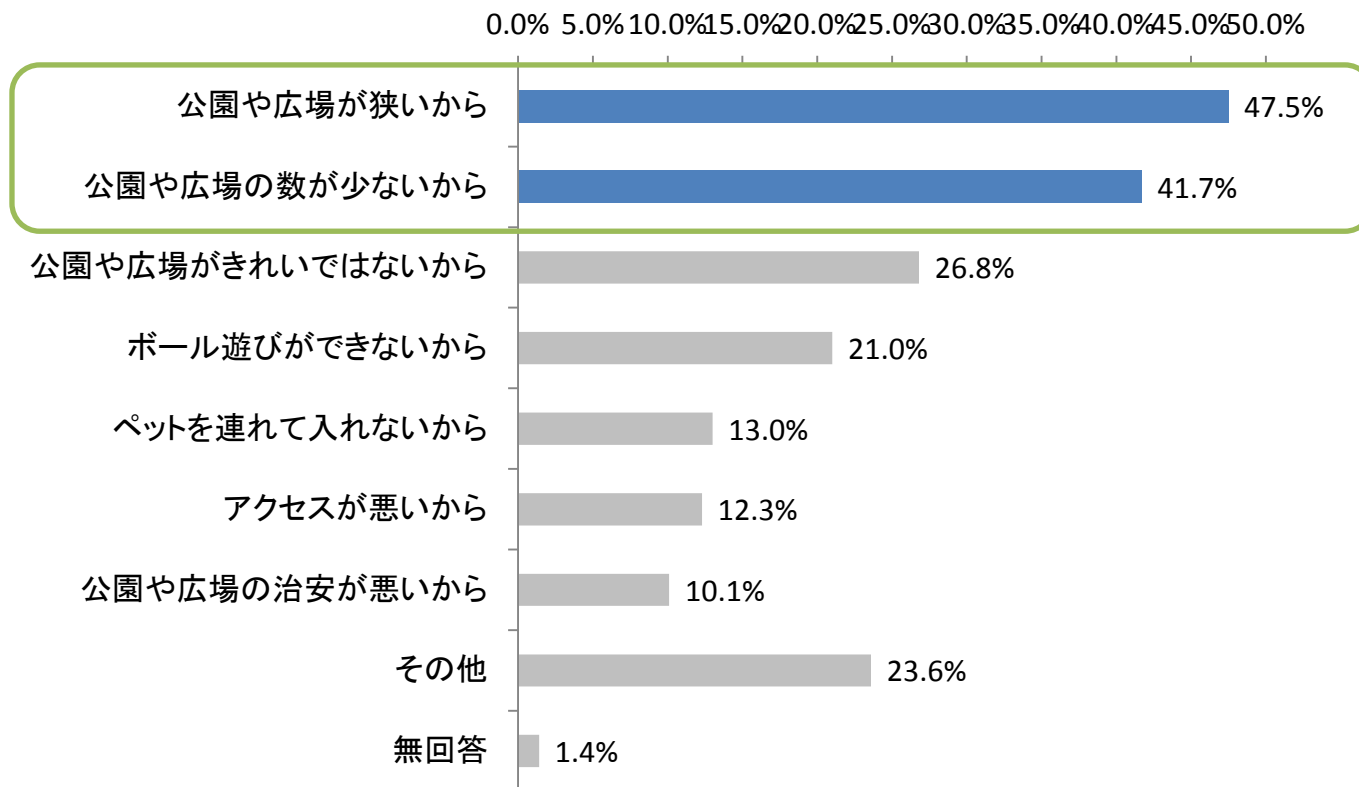


【出典】平成25年住宅・土地統計調査（総務省統計局） ※平成25年10月1日現在

# 公園に対する不満理由

公園や広場の狭さや数の少なさから不満を持つ人の割合が多い。

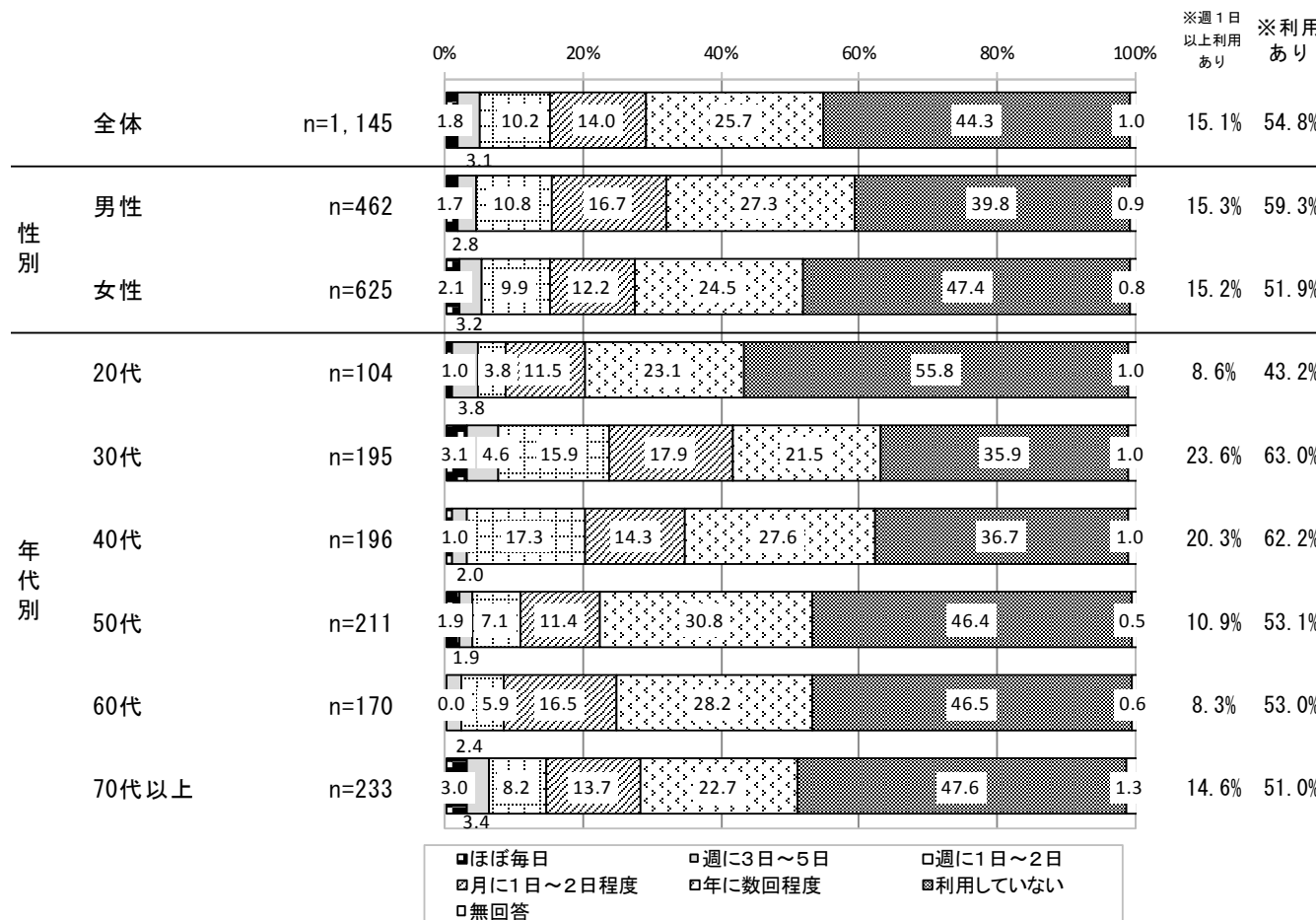
区内の公園や広場に不満を感じる理由は何ですか【複数回答可】(N=276)



平成30年度中野区区民意識・実態調査より

# 性別・年代別にみる公園の利用頻度

性別にみると、男性で《利用あり》がやや高くなっている。年代別にみると、《利用あり》は30代と40代でそれぞれやや高くなっている。





# 世界に開かれた都市活動と にぎわいの拠点

# 産業別売上増加ランキング ～地域経済への波及～

中野四季の都市（まち）への企業立地により、地域の生産性が増進。関連産業の事業所数、売上金額が増加している。

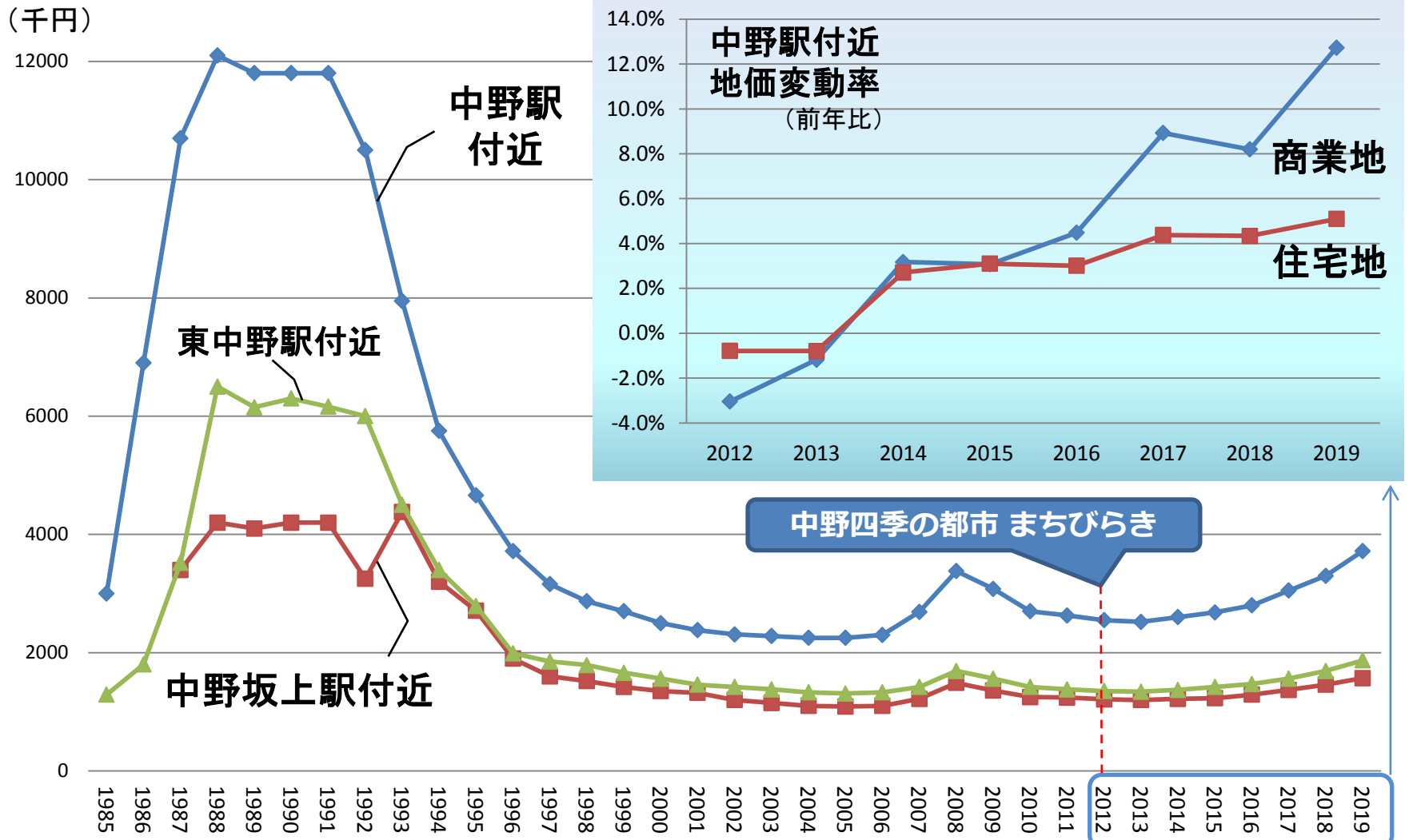
(百万円)

順位	産業大分類	H28		H24		増減		
		事業所数	売上(収入)金額	事業所数	売上(収入)金額	事業所数	売上(収入)	
							差引	増減率
1	医療, 福祉	1,052	819,165	722	57,459	330	761,706	1326%
<b>2</b>	<b>卸売業、小売業</b>	2,385	1,277,003	2,189	881,977	<b>196</b>	<b>395,026</b>	<b>45%</b>
3	学術研究、専門・技術サービス業	655	186,714	595	35,170	60	151,544	431%
4	製造業	352	108,791	365	35,110	-13	73,681	210%
5	情報通信業(情報サービス業、インターネット附随サービス業)	156	112,057	183	56,499	-27	55,558	98%
6	サービス業(政治・経済・文化団体、宗教を除く)	335	135,368	325	91,707	10	43,661	48%
7	不動産業、物品賃貸業	1,438	147,245	1,447	112,283	-9	34,962	31%
8	生活関連サービス業、娯楽業	1,004	89,134	843	71,006	161	18,128	26%
<b>9</b>	<b>宿泊業、飲食サービス業</b>	1,525	42,794	1,160	32,152	<b>365</b>	<b>10,642</b>	<b>33%</b>
10	教育、学習支援業(その他の教育、学習支援業)	296	13,415	236	15,166	60	-1,751	-12%

出典：平成24年、28年経済センサス活動調査より

# 商業地地価の推移

中野駅付近は、他の地域と比べ、中野四季の都市(まち)まちびらき以降の地価上昇が顕著。



出典：公示地価

# 地域のにぎわいの創出・再生

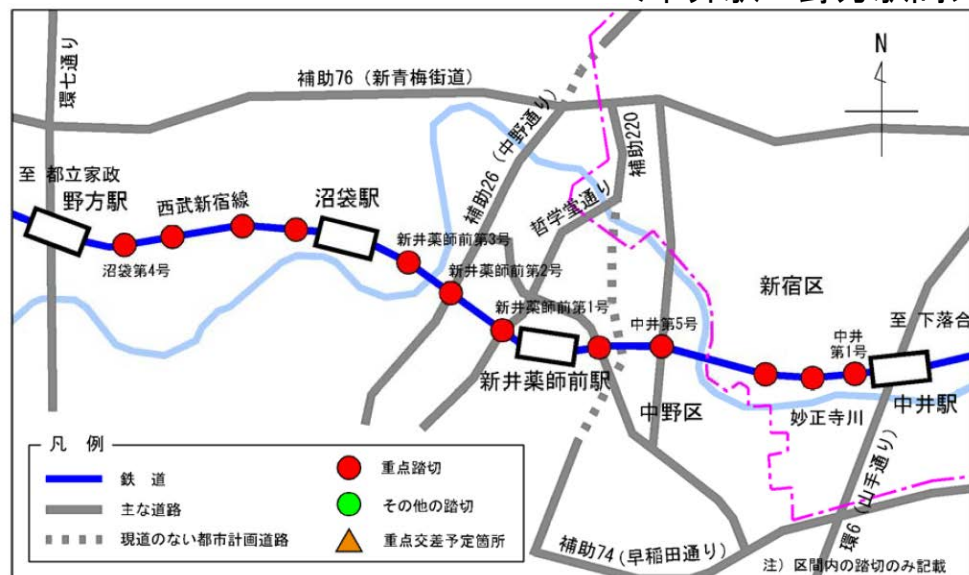
# 東京都内の踏切問題と区内西武新宿線の状況

平成16年(2004年)に東京都は、当時、都内に約1,200箇所(箇所)の踏切が存在し、交通渋滞をはじめとした様々な問題が日常的に発生している中、踏切対策を促進するための「踏切対策基本方針」を策定した。

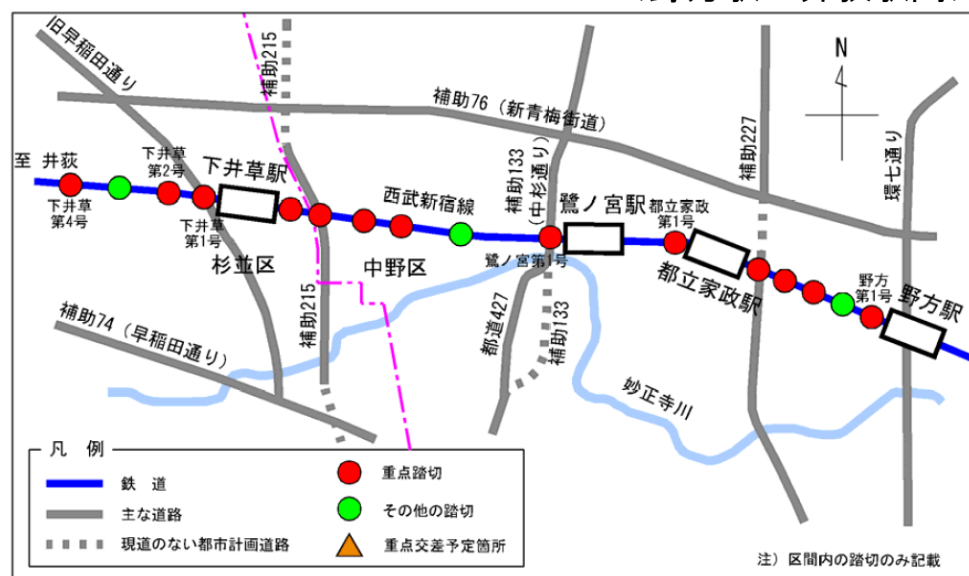
この中で、東京都は、「鉄道立体化の検討対象区間」として20区間を位置付けた。

このうち、中野区内は重点的に対策を実施・検討すべき踏切である「重点踏切」が多く位置する右図の中井～野方駅付近と野方～井荻駅付近の2区間が対象となった。

＜中井駅～野方駅間＞



＜野方駅～井荻駅間＞



# 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の取組み

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟は、平成16年(2004年)に中野区民、中野区議会、中野区が一体となって、西武新宿線の踏切渋滞などを解消するために結成され、決起大会の開催や関係機関への要請活動を継続的に行っている。



決起大会の様子(平成30年8月)



石井国土交通大臣への要請活動(平成30年12月)

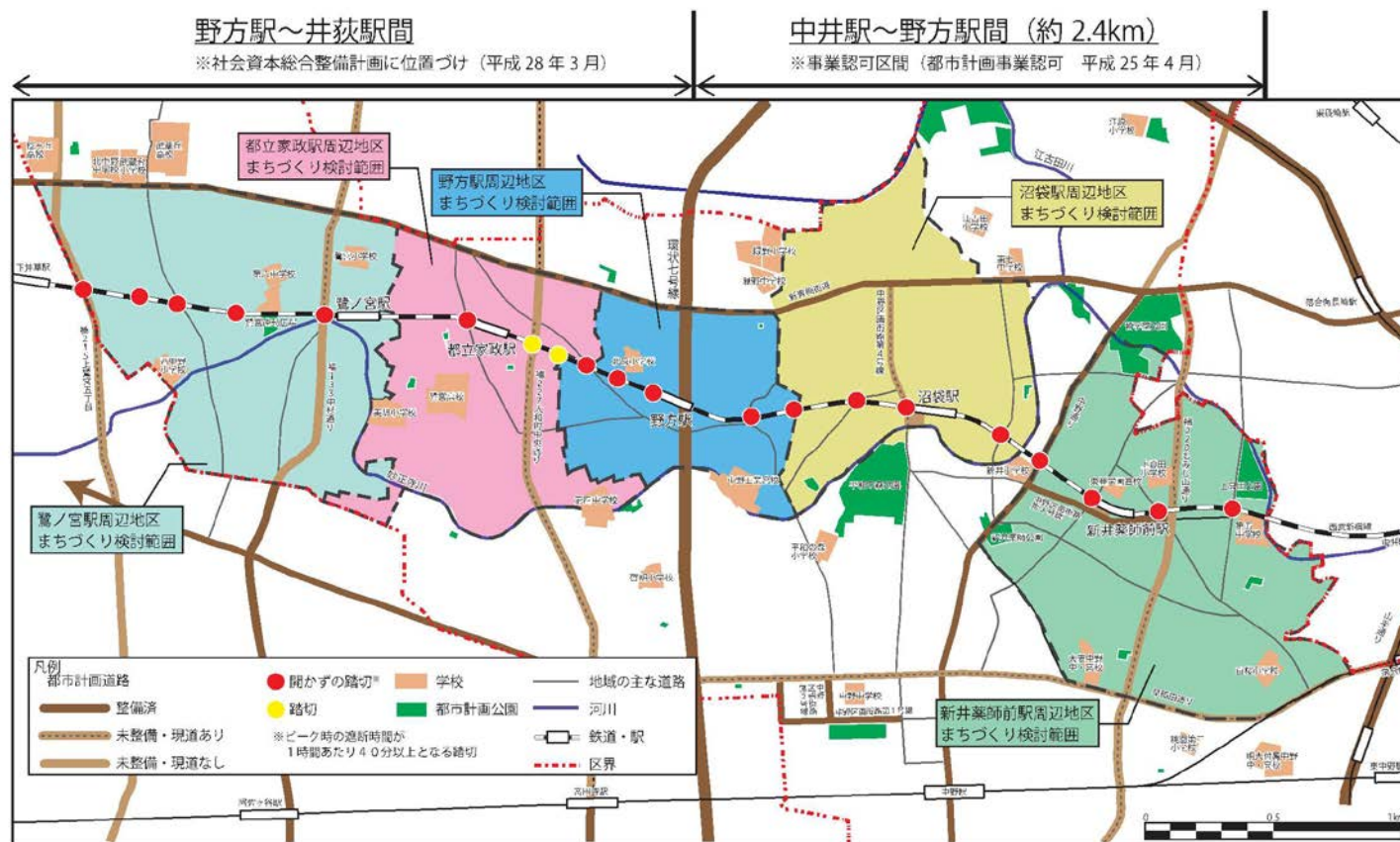




# 西武新宿線沿線まちづくりの概要

連続立体交差事業は、地域のまちづくりが着実に進んでこそ、その効果が高まるものである。中井駅～野方駅間における新井薬師前駅及び沼袋駅周辺地区では、まちづくり推進プラン(平成29年(2017年)5月策定)にもとづき、まちづくりの具体的な取り組みを進めている。

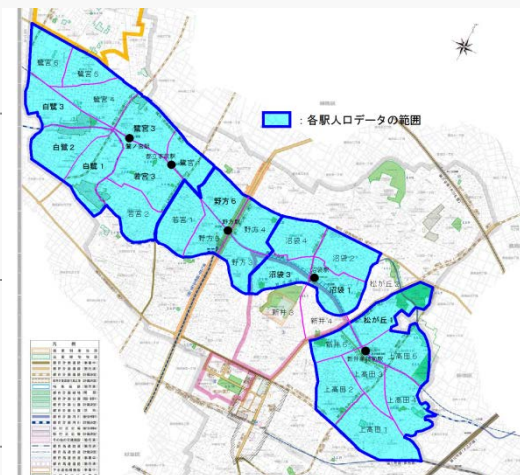
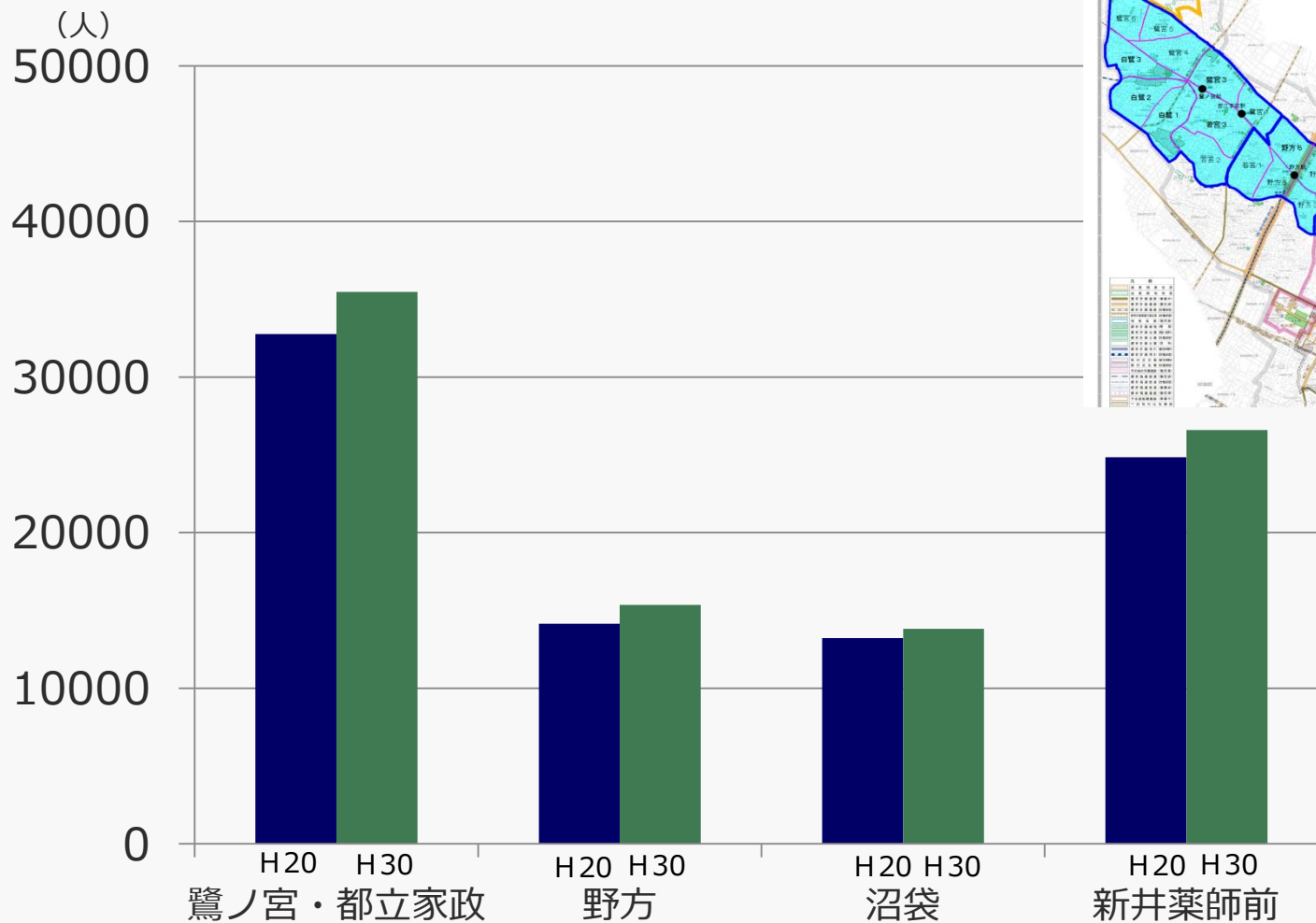
また、野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺地区では、具体のまちづくりを進めるための指針となるまちづくり整備方針の策定に向けて検討を進めている。





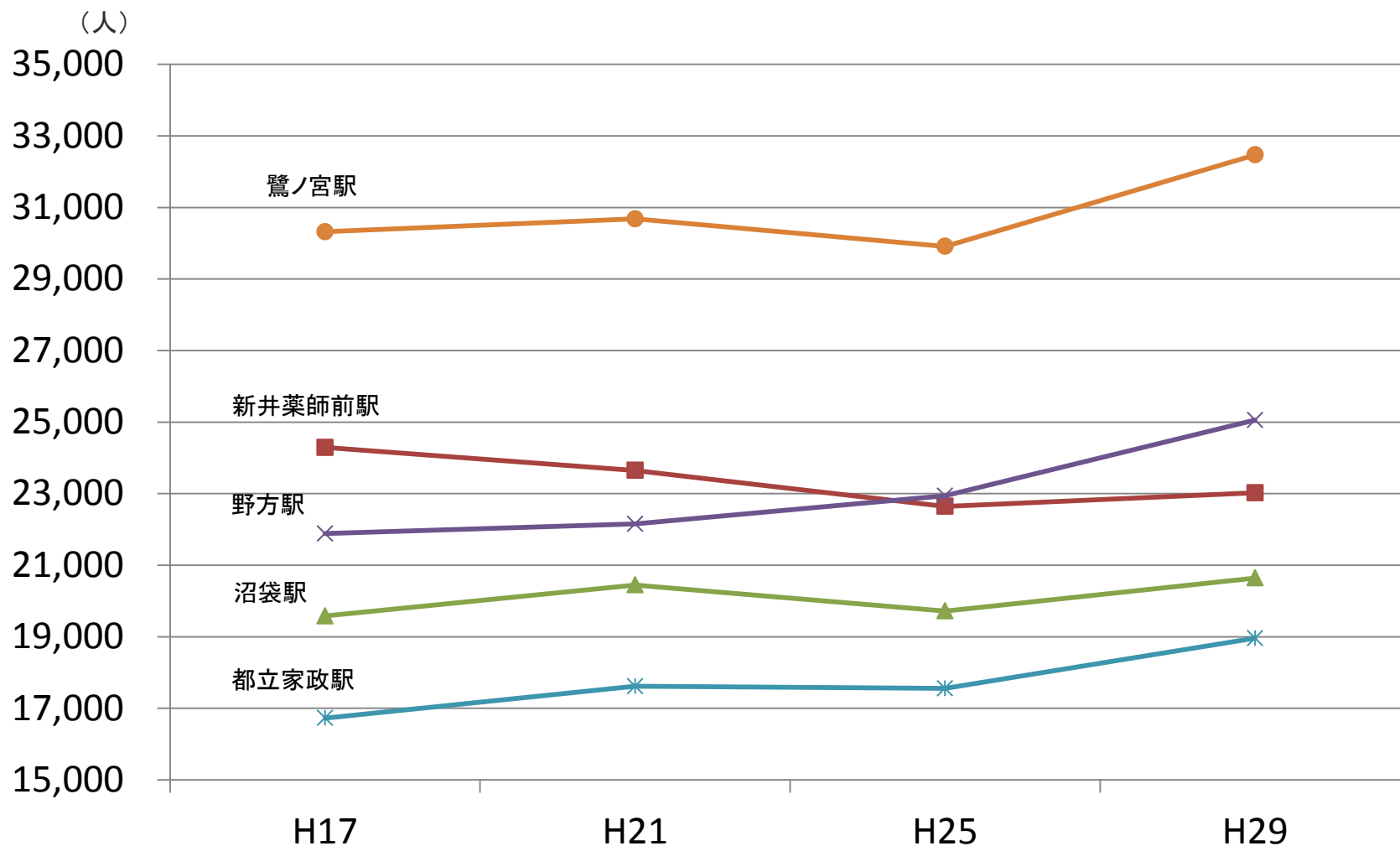
# 西武新宿線沿線各駅の人口の推移

各駅周辺において、平成30年の人口は平成20年と比べて増加しているが、他路線の駅周辺と比較すると伸び率が低く、まちづくりの効果が現われるにはまだ時間がかかる。



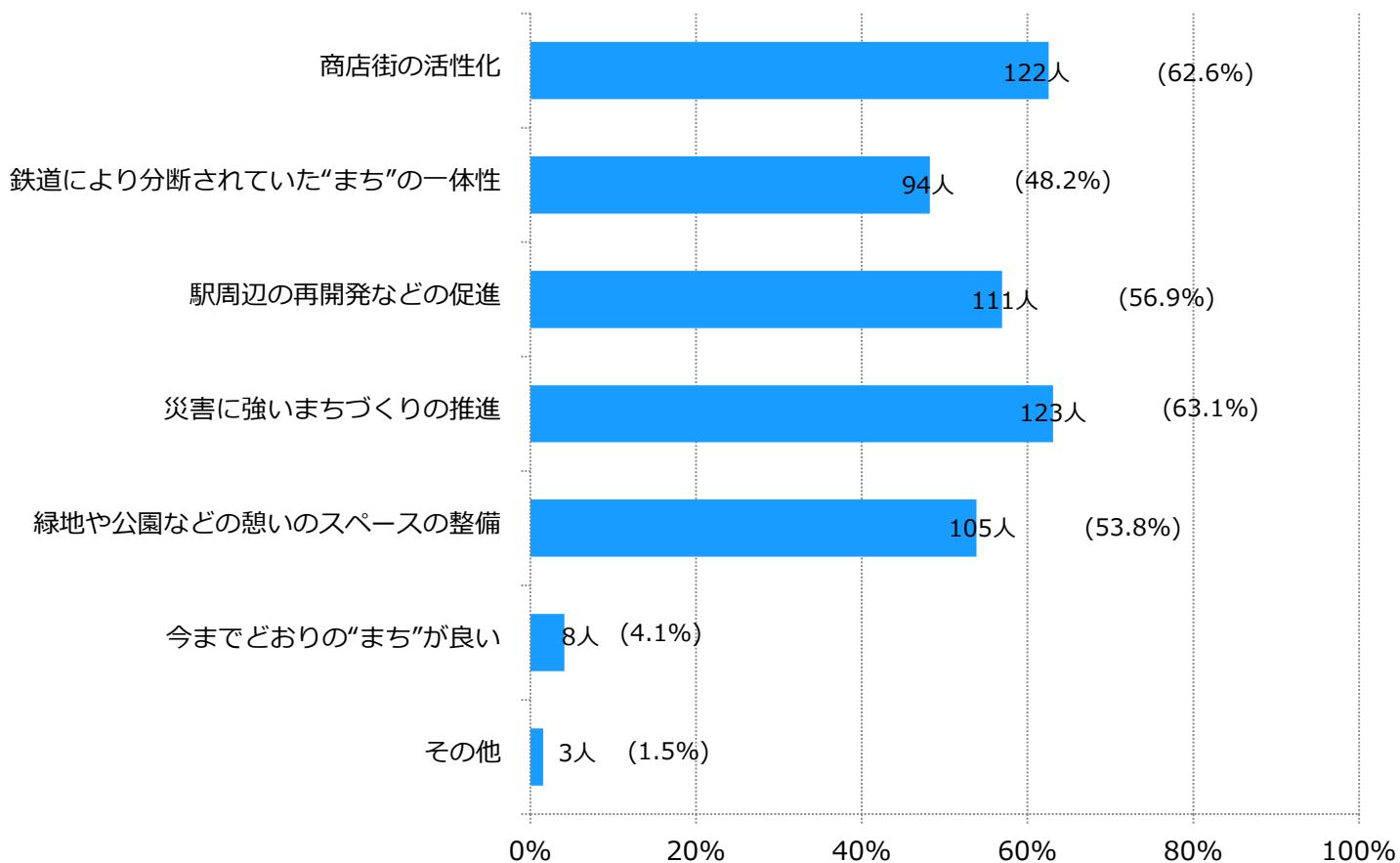
# 西武新宿線沿線各駅の乗降客数の推移

乗降客数は、人口増加と比べても伸び率が低い。



# 西武新宿線沿線の住民のまちづくりに対する意識

## 連続立体交差事業で変わる“まち”に期待すること



(回答者195名)  
※複数回答可

# 災害に強い都市

# 中野区の地域危険度

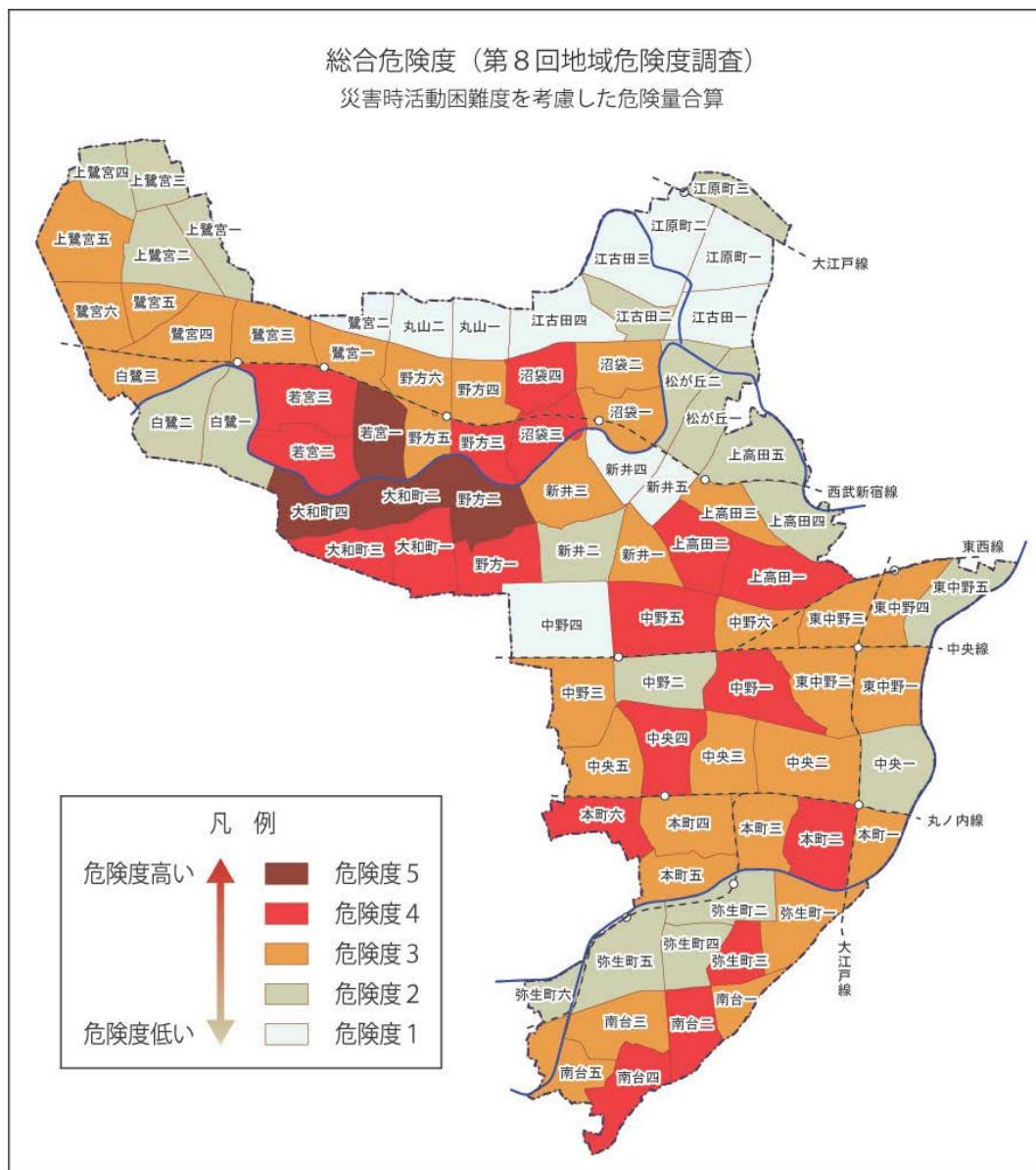
地域危険度とは、

都内の市街化区域5,177町丁目について、地震に関する危険性を測定し、相対評価により5段階のランクを割り当てたもので、

ランク5が最も危険度が高く、ランク1が最も低い。

第8回調査報告(平成30年2月)によると、中野区では、総合危険度で

危険度5が4町丁目  
危険度4が18町丁目  
となっている。

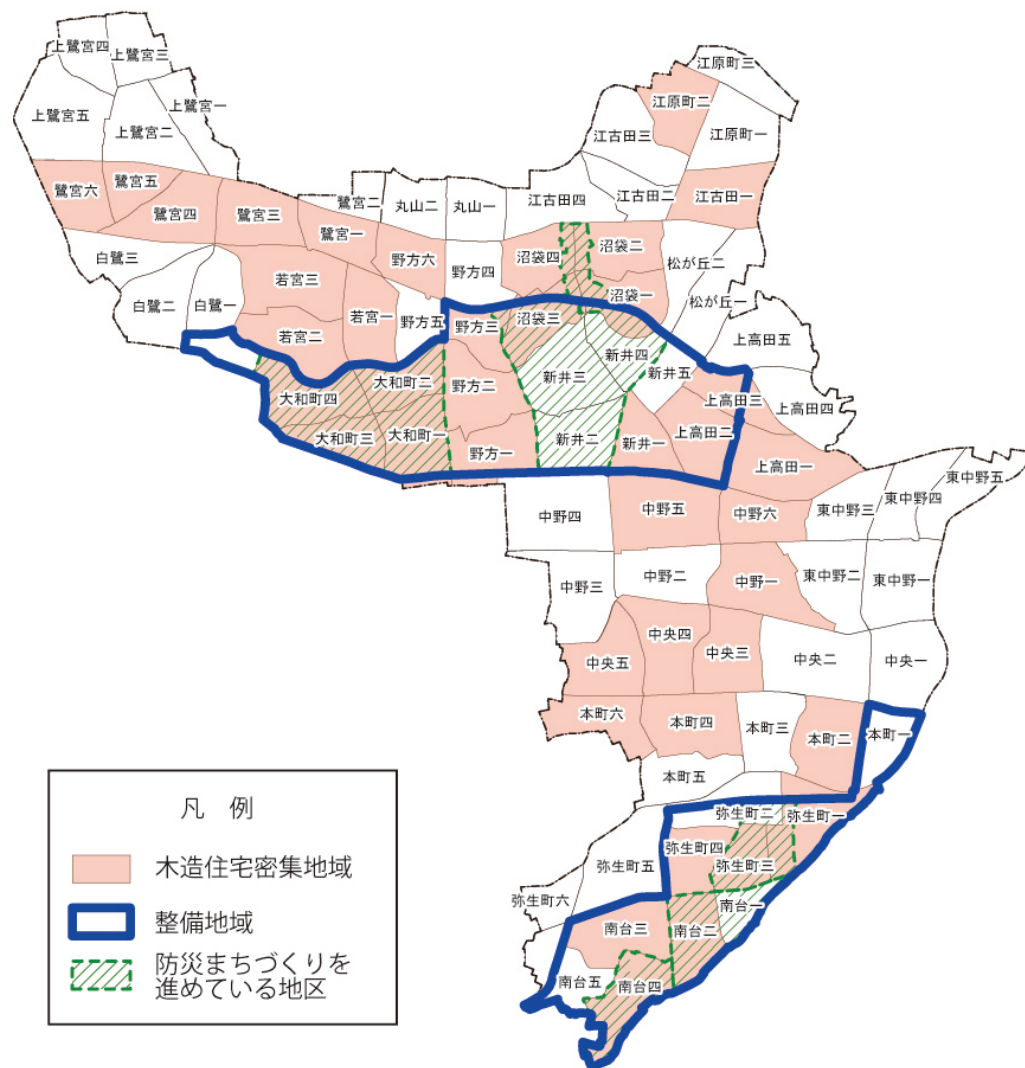


# 木造住宅密集地域

東京都防災都市づくり推進計画では、震災時に延焼被害のおそれのある老朽木造住宅が密集している地域(都内合計約13,000ha)を木造住宅密集地域に指定。

中野区内では41町丁目が該当

中野区における木造住宅密集地域と整備地域







# 首都直下地震等による中野区の被害想定

中野区では、甚大な建物被害や人的被害が想定されているが、特に、建物の焼失被害が、東京都全域や隣接新宿区と比較しても大きい。

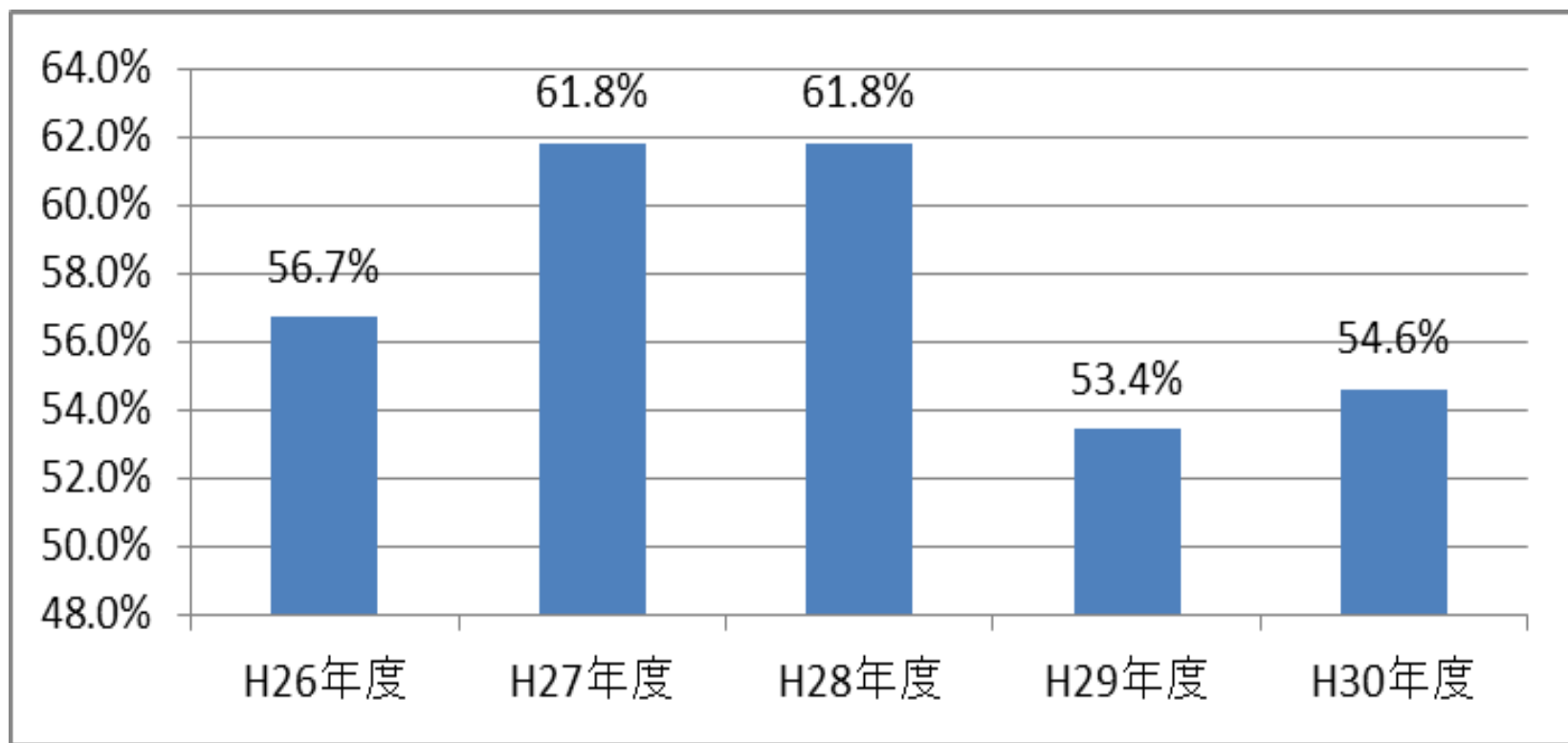
		中野区内	新宿区内	東京都全域
面積(km <sup>2</sup> )		15.6	18.2	1777.6
昼間人口(万)		28.5	77.0	1495.0
建物棟数	木造(棟)	51,464	36,731	2,011,459
	非木造(棟)	20,821	29,507	814,962
建物被害	全壊建物(棟)	2,241	3,683	116,224
	出火件数(件)	24	37	811
	焼失建物(棟)	7,222	2,179	201,249
	焼失率(%)	10.7	3.9	7.3
人的被害	死者(人)	214	293	9,641
	重症(人)	356	887	21,893
	中等・軽症(人)	2,059	5,905	125,718
	避難者(人)	76,807	76,805	3,385,489
	帰宅困難者(人)	58,123	313,811	4,714,314

東京都地域防災計画 震災編(平成26年修正版)【別冊資料】  
 想定=東京湾北部地震(M7.3)冬18時・風速8m/s より



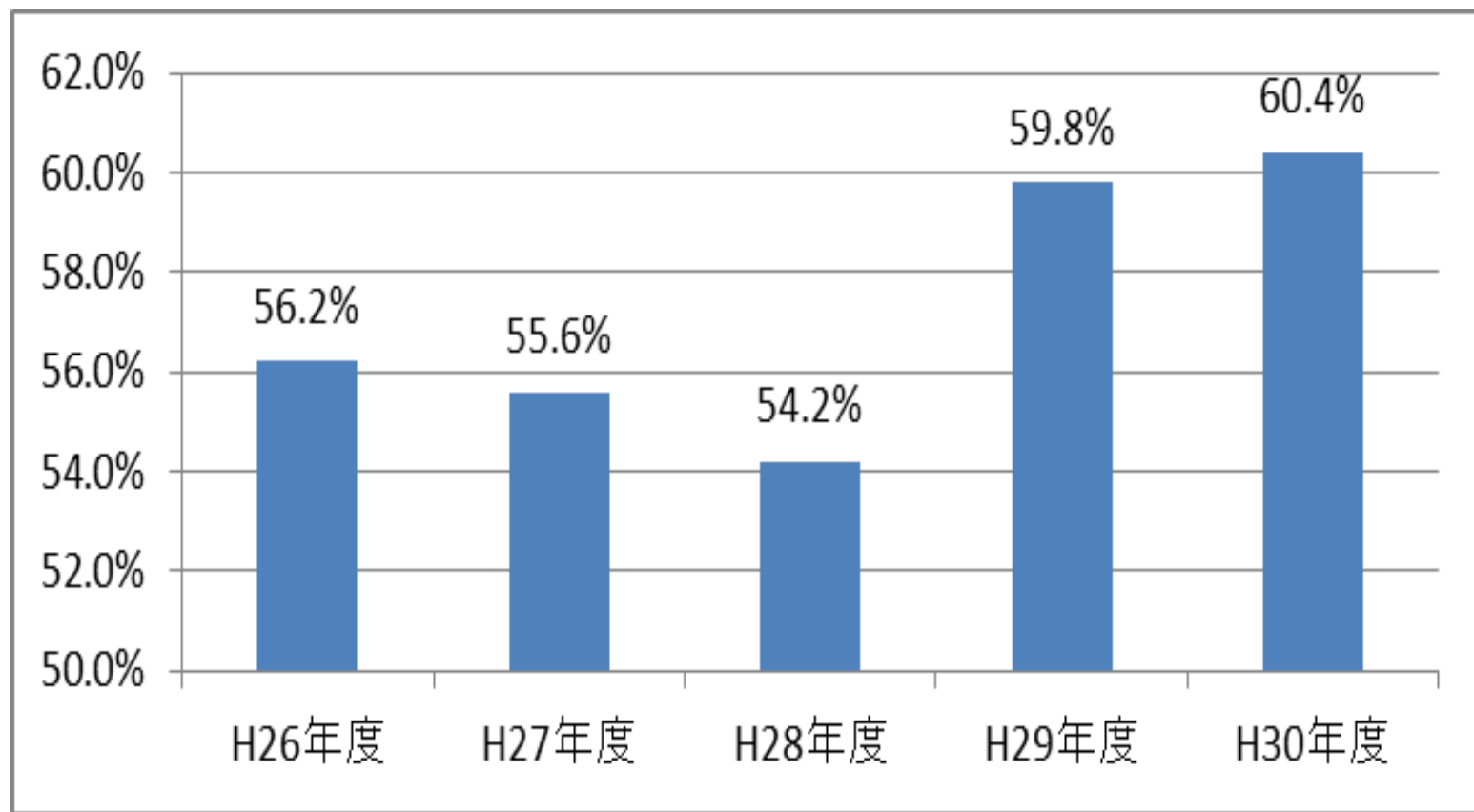
# 災害時の安全性について、良い・どちらかといえば良いと回答した区民の割合

災害時の安全性について、良い・どちらかといえば良いと回答した区民の割合は、平成29年度、低下した。



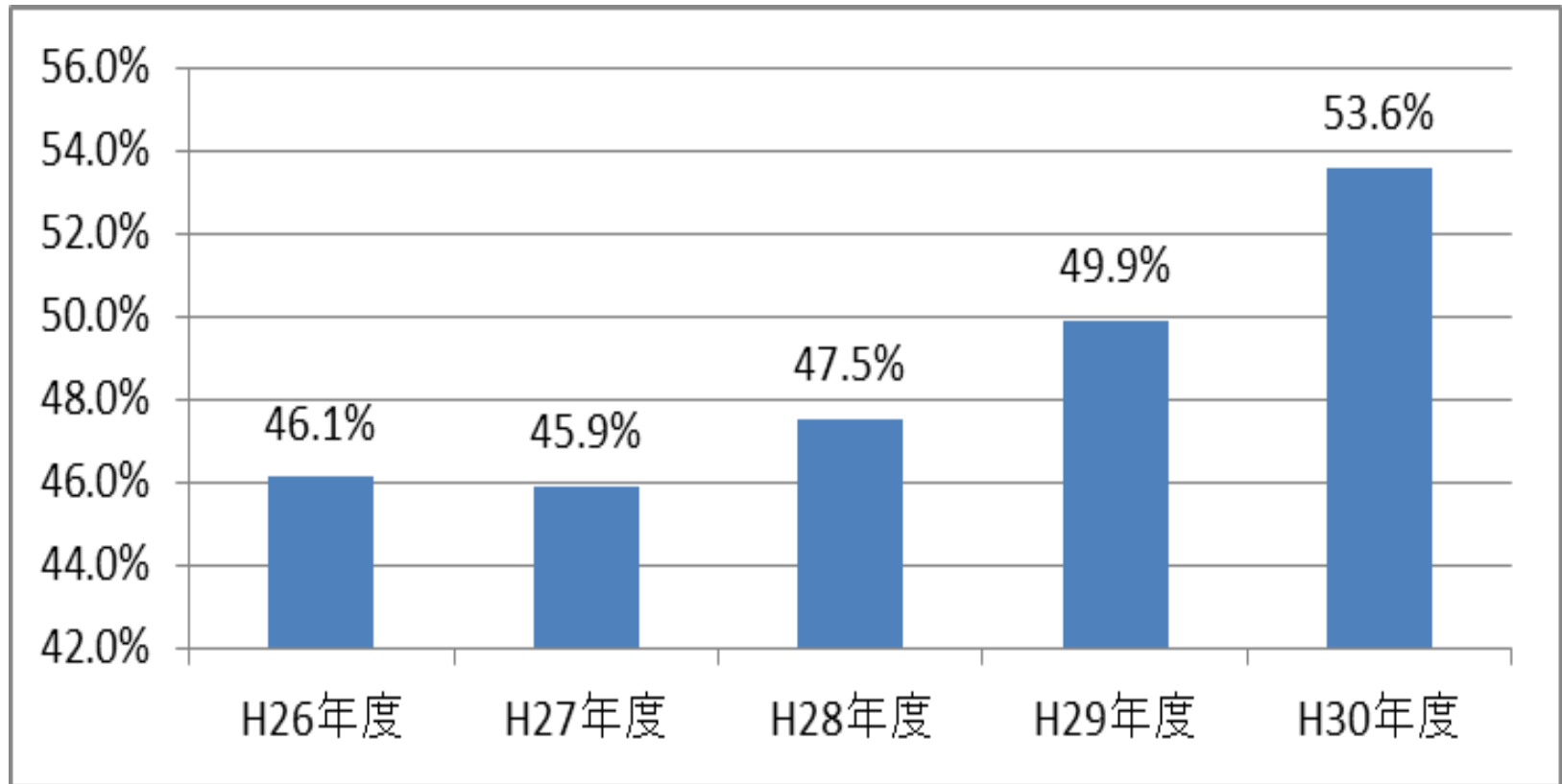
# 飲料水を備蓄している区民の割合

飲料水を備蓄している区民の割合は増加傾向となっているが、依然4割近くの区民は飲料水を備蓄していない。



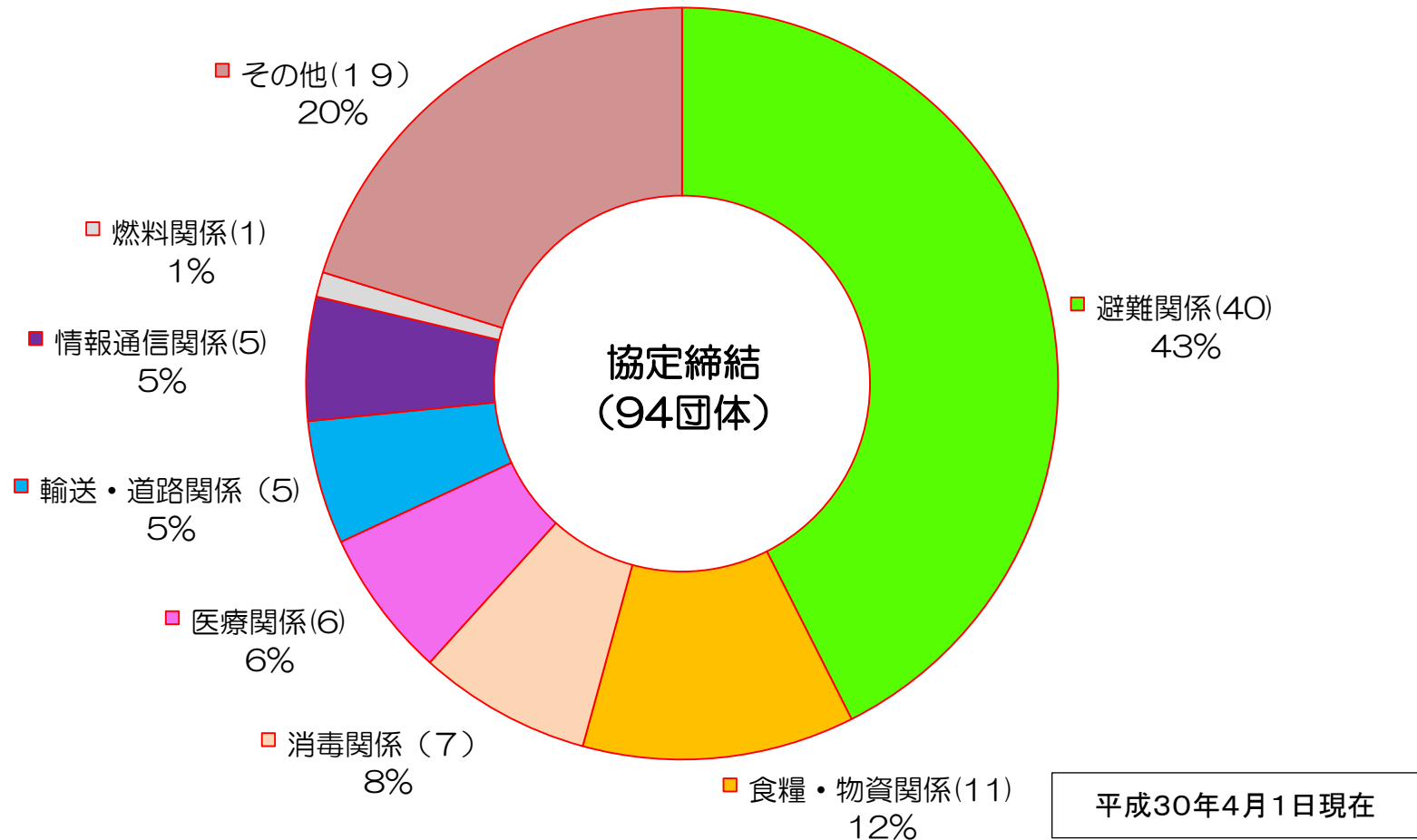
# 食料を備蓄している区民の割合

食糧を備蓄している区民の割合は増加傾向となっているが、約5割の区民は食糧を備蓄していない。



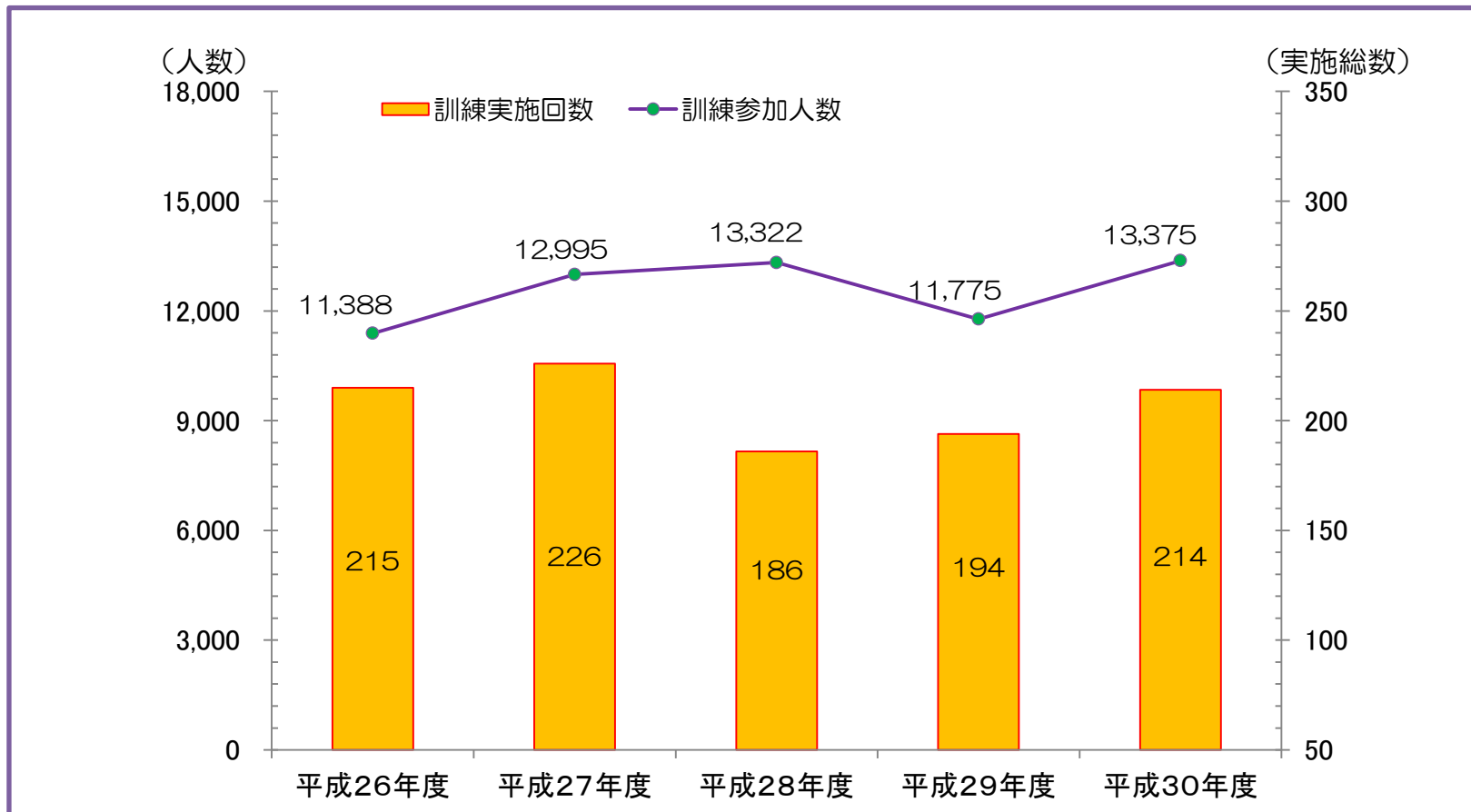
# 中野区と他団体との協定状況

事業所との連携など防災体制の充実・強化を目的に、94の団体と連携協力に関する協定を締結、避難所設備の利用や物資及び資機材の提供などの充実を図っている。



# 地域防災会の自主訓練の実施状況と参加人数

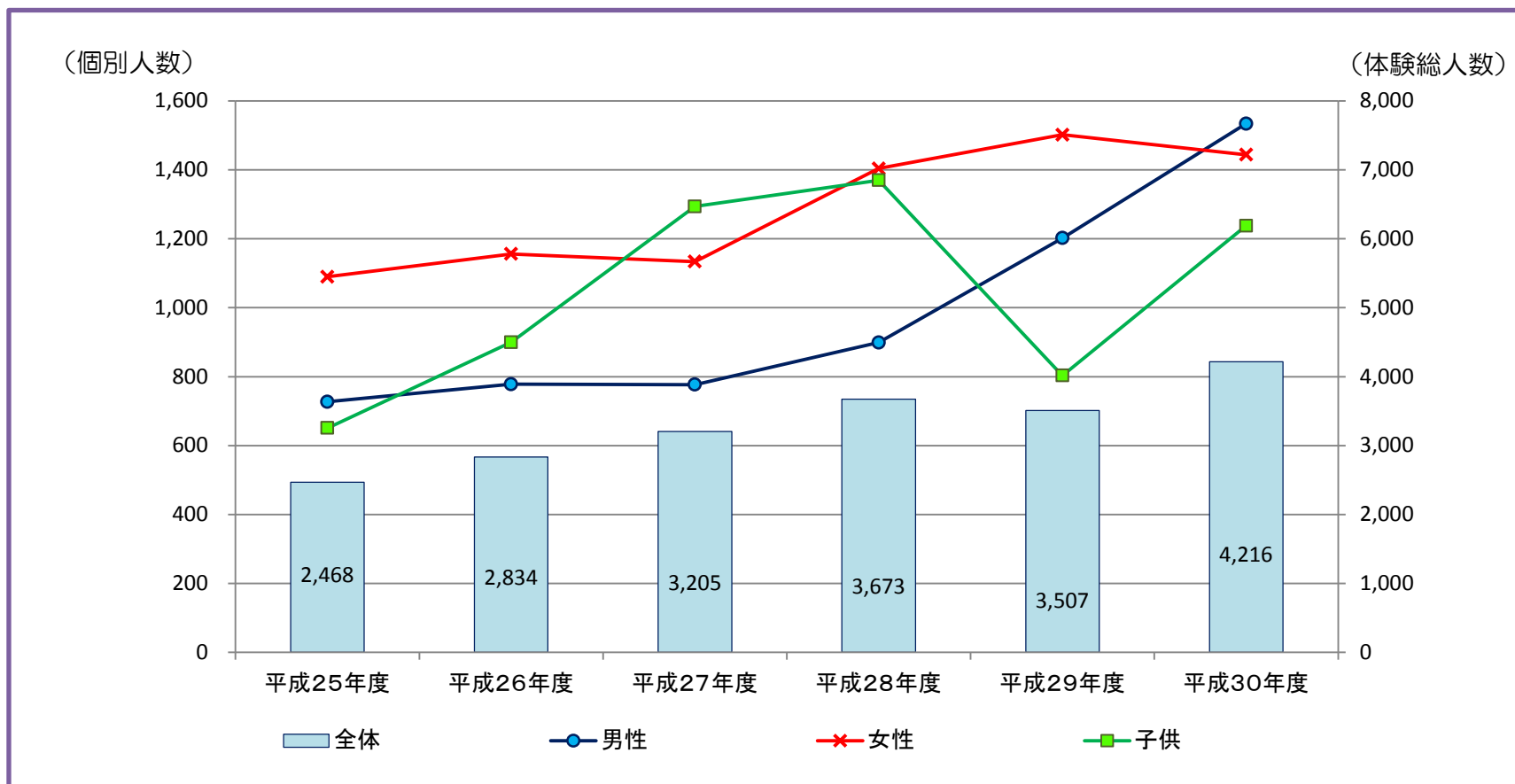
防災行動力を高めるため各地域防災会は、自主訓練を推進しているが、訓練実施回数、訓練参加人数ともに横ばいを推移しており、一層の実施促進が必要である。



中野区地域防災計画(平成30年修正版)【別冊資料】より

# 防災体験デーの体験者数の推移

防災意識の高揚を目的に、防災体験デーを開催しており、年々、体験者数は増加をしているものの、平成28年度から女性の体験者数は横ばいに、子供の体験者数は変動が大きくなっている。

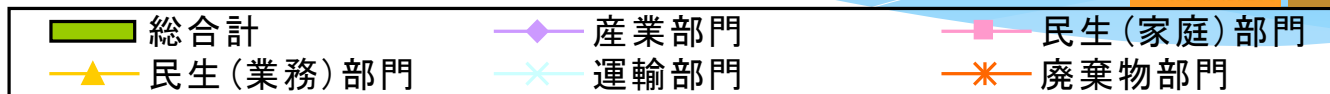


中野区地域防災計画(平成30年修正版)【別冊資料】より

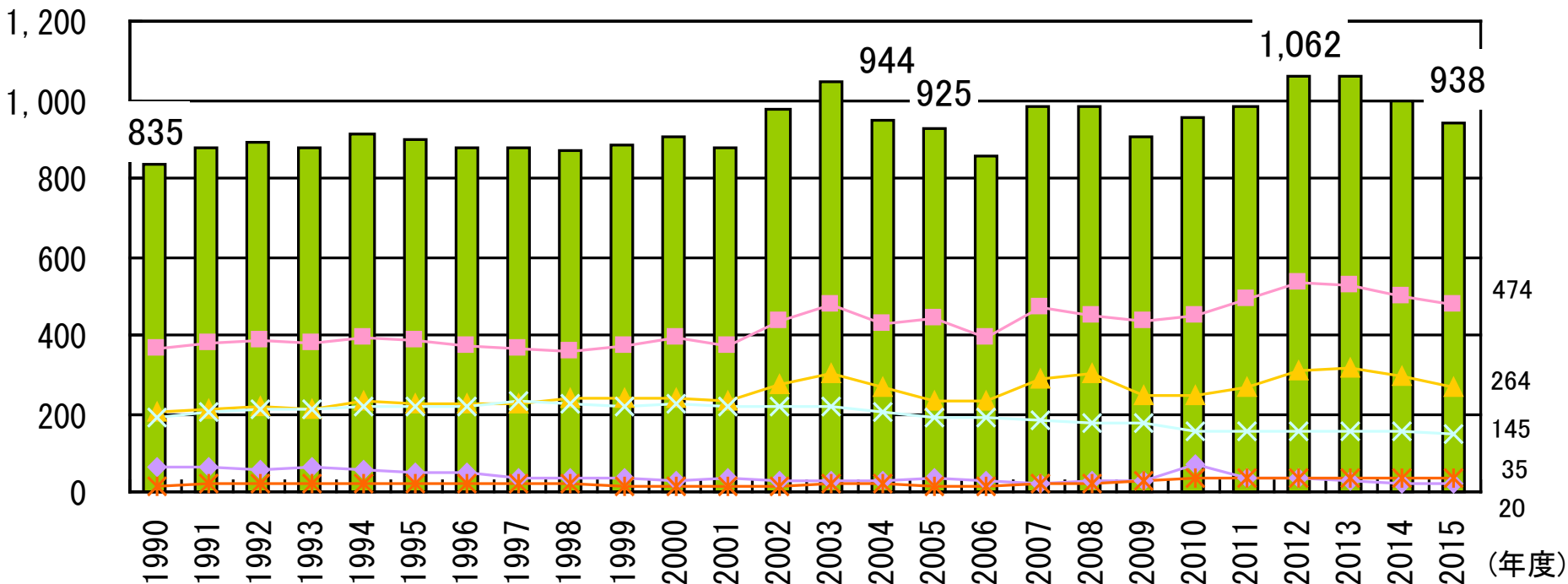
# 地球にやさしいライフスタイル

# 中野区の部門別CO<sub>2</sub>排出量の推移 (1990年度～2015年度)

第3次中野区環境基本計画において、2025年度のCO<sub>2</sub>排出量を901千トンとする目標を立てている。目標達成に向け、CO<sub>2</sub>削減施策を継続・推進していく必要がある。



(千t)



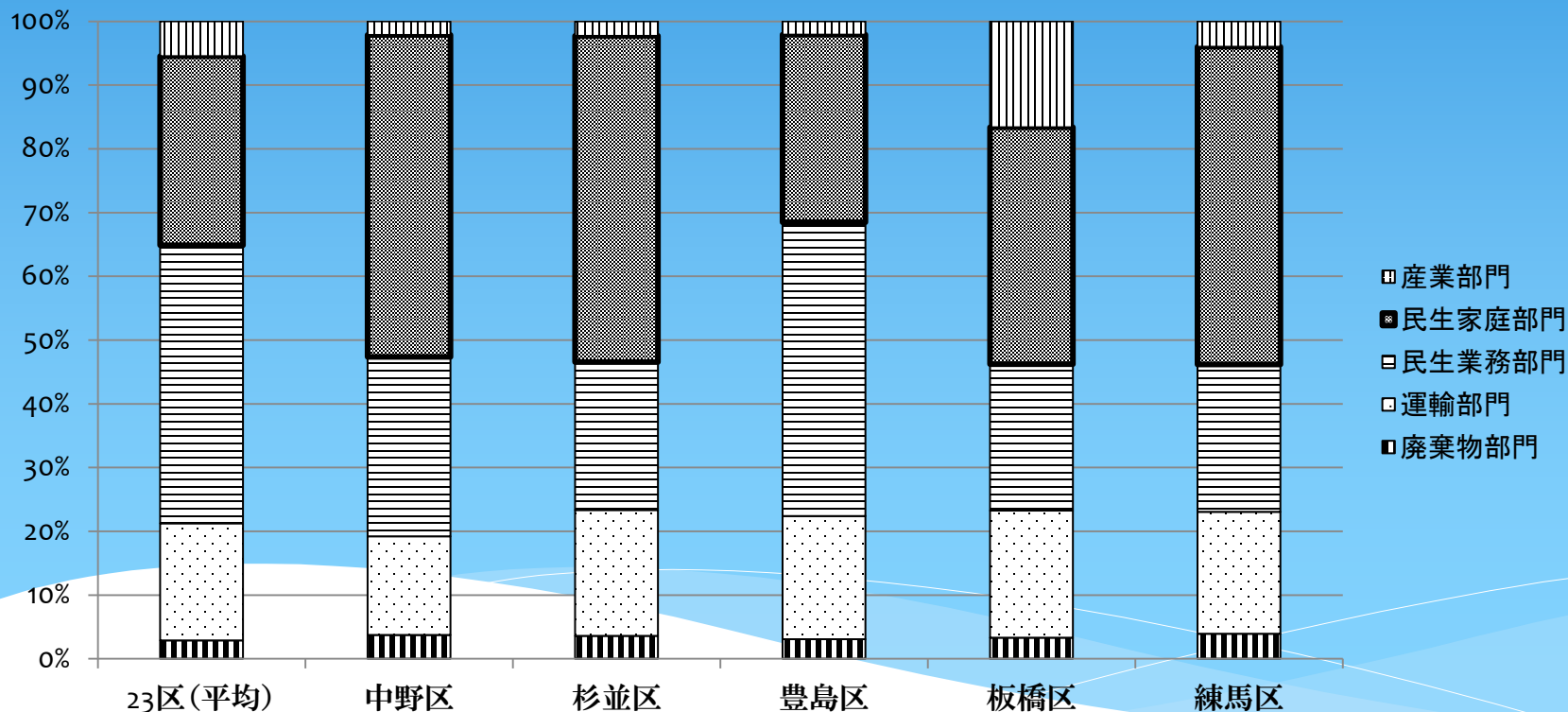
(公財)特別区協議会

「特別区の温室効果ガス排出量(1990年度～2015年度)」より作成



# 2015年度CO<sub>2</sub>排出量割合の比較 (第4ブロック)

中野区は、民生家庭部門の構成比が23区の中では高いため、民生家庭部門を中心に、CO<sub>2</sub>削減施策を展開する必要がある。



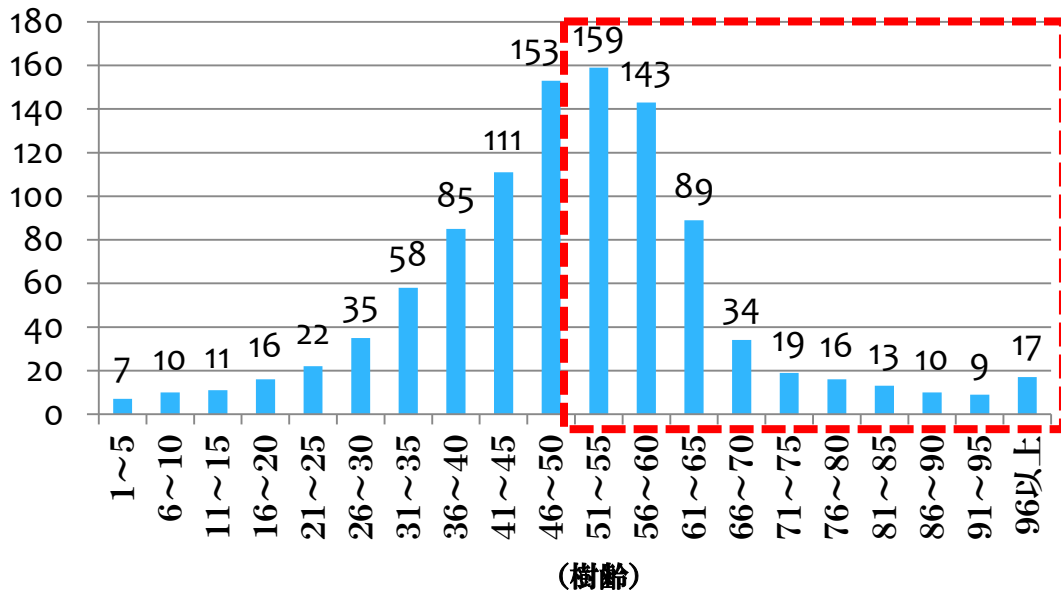
(公財)特別区協議会  
「特別区の温室効果ガス排出量(1990年度~2015年度)」より作成

# 木材利用によるCO<sub>2</sub>の吸収

国内における人工林の半数が一般的な主伐期である50年生を超えており、資源を有効活用すると同時に、循環利用に向けて計画的に再造成することが必要である。森林を保有していない都市部である中野区では、国産材の積極的な利用により、森林保有地域の森林整備を支援することになる。(適正な森林整備は、森林によるCO<sub>2</sub>吸収の増加につながる。)

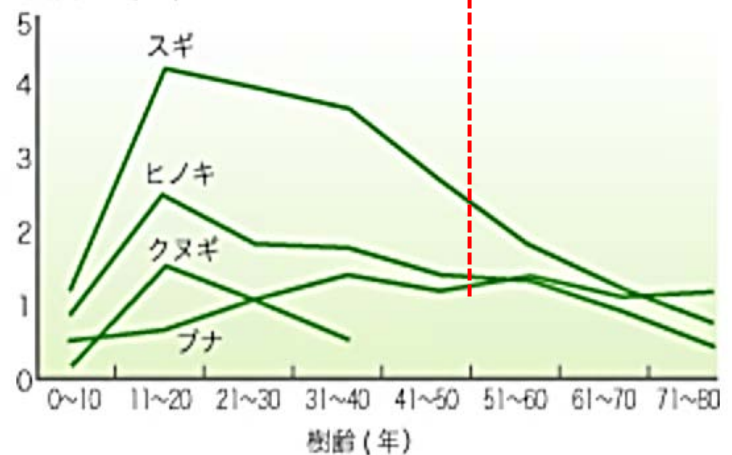
## ○人工林の樹齢別面積

(万ha)



## ○樹種・林齢別炭素吸収量

(炭素トン/ha)



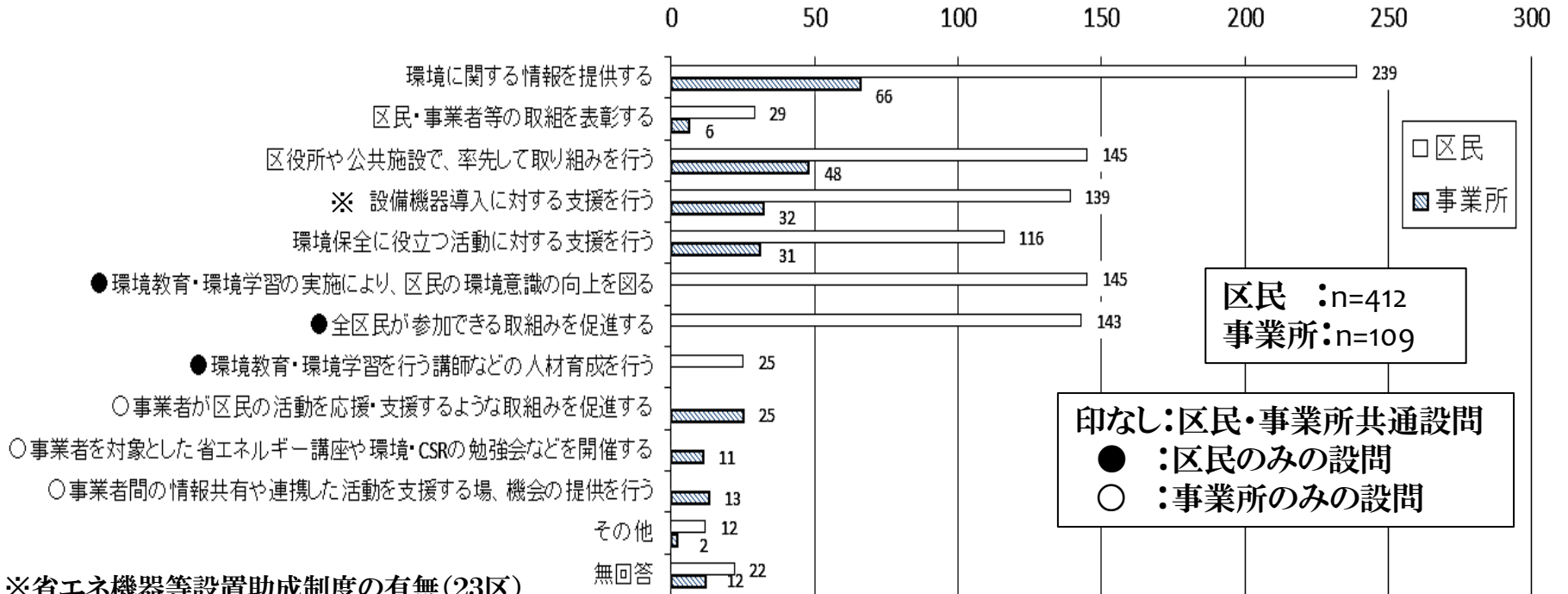
※森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画の対象となる森林の面積。

林野庁「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)及び  
関東森林管理局HPより作成



# 中野区環境施策への要望

区民および事業者ともに、情報提供・区の率先した取組・設備機器導入や環境保全活動への支援について、要望が高い。



※省エネ機器等設置助成制度の有無(23区)

- 助成制度実施区 ・太陽光発電システム 19区
  - ・太陽熱ソーラーシステム、温水器 12区
  - ・エコキュート 7区
  - ・エネファーム 17区

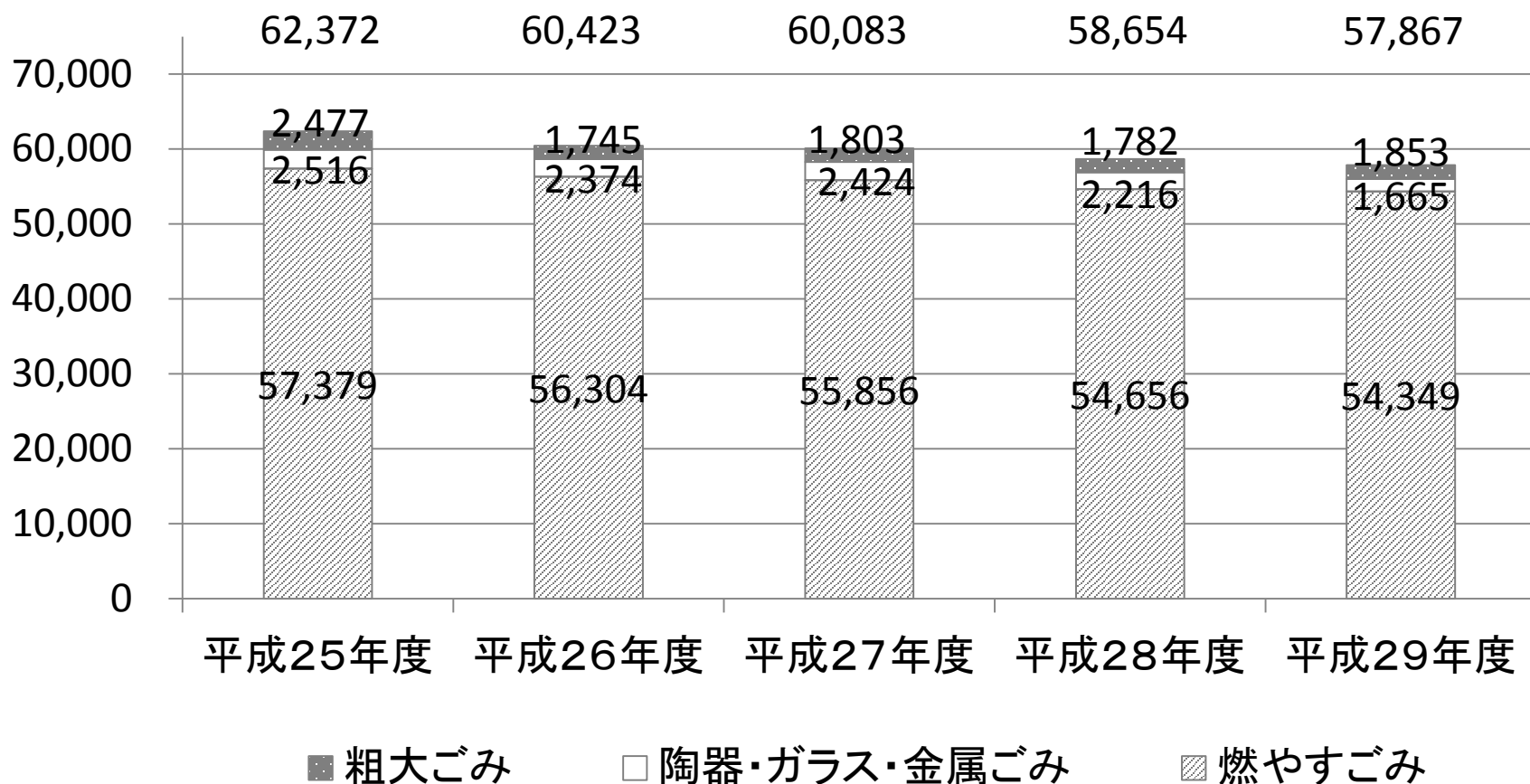
中野区は、いずれの機器についても未実施である。

「環境」に関する区民・事業所アンケート  
 (平成26年度中野区実施)及び  
 各区のHPより作成

# 中野区のごみ量の推移

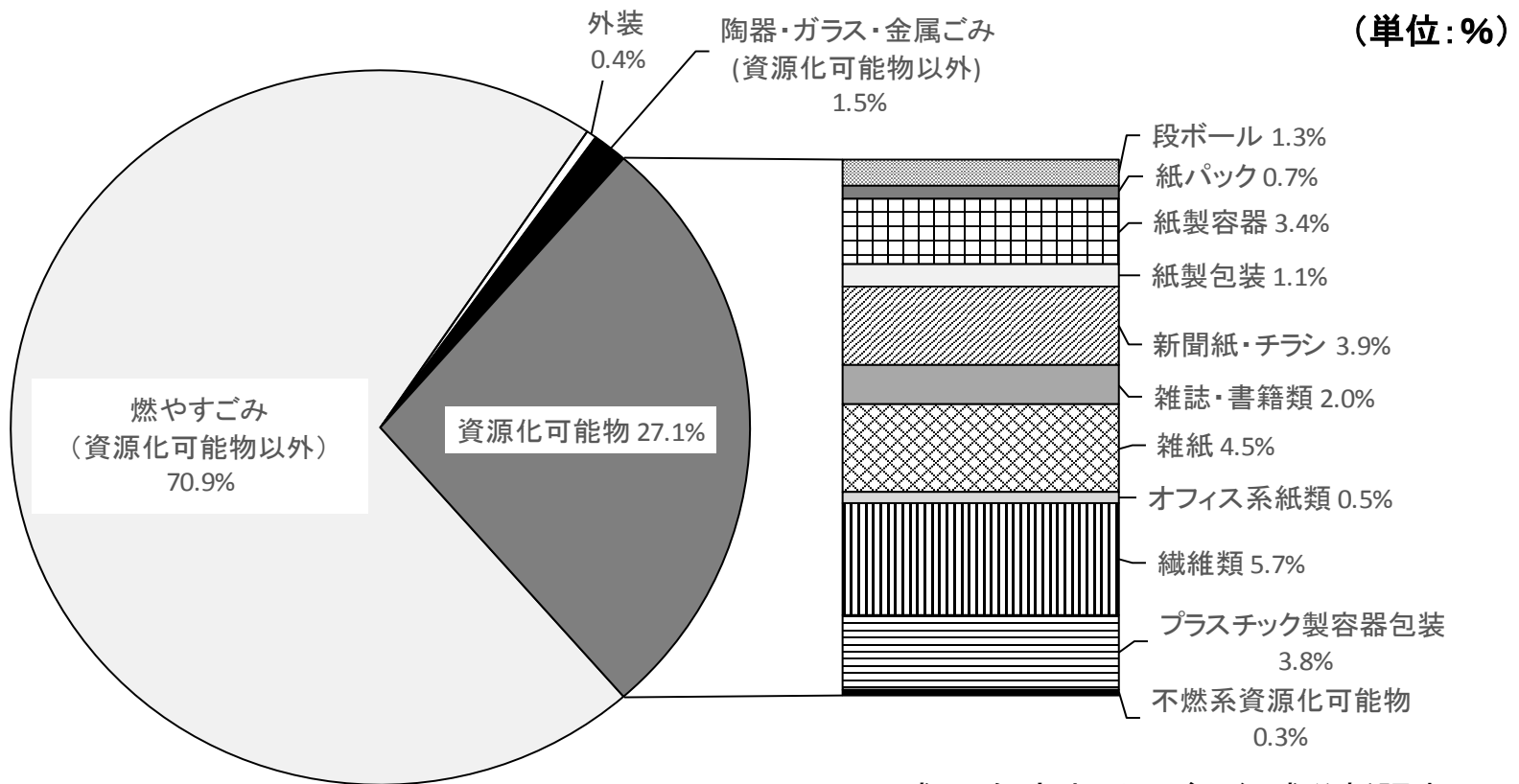
毎年度ごみ量は減少傾向にあるが、その減少率は鈍化している。

(単位:トン/年度別)



# 燃やすごみに混入している、資源化可能物及び対象外品目の割合

燃やすごみの中には、紙類など資源として回収できる物がまだ多く含まれている。



＜平成30年度中野区ごみ組成分析調査＞

# 近隣区のごみ収集・資源回収実施状況（平成31年度）

区名	ごみ収集									
	可燃ごみ			不燃ごみ				粗大ごみ		
	週回	直営	車付 雇上	月回	直営	車付 雇上	資源化	受付	収集	
									直営	委託
中野	週2回	○		月2回		○	○	委託		○
杉並	週2回	○	○	月2回	○		○	委託		○
練馬	週2回	○	公社	月2回	○	公社	×	委託		○
豊島	週2回	○	○	月2回		○	○	委託		○
板橋	週3回	○	○	月2回		○	○	委託		○

区名	資源回収										
	びん・缶・ペットボトル	プラスチック製容器包装		古紙		古布		小型 家電			
		週回	直営	委託	週回	行政 回収	集団 回収		週回	行政 回収	集団 回収
中野	週1回	週1回		○	週1回		○	週1回		○	9品目
杉並	週1回	週1回		○	週1回	○		—			15品目
練馬	週1回	週1回		公社	週1回	○		—			9品目
豊島	週1回	—			週1回	○		週1回	○		28品目
板橋	週1回	—			週1回	○		—			28品目

※「古紙」及び「古布」については、主として実施している方に「○」を付けている。